

きょうのテーマ

みんなの将来

みんな動こう

みんな知りたい

みんな守ろう

みんなトモダチ

おこづかい増えないかな？

ニュース

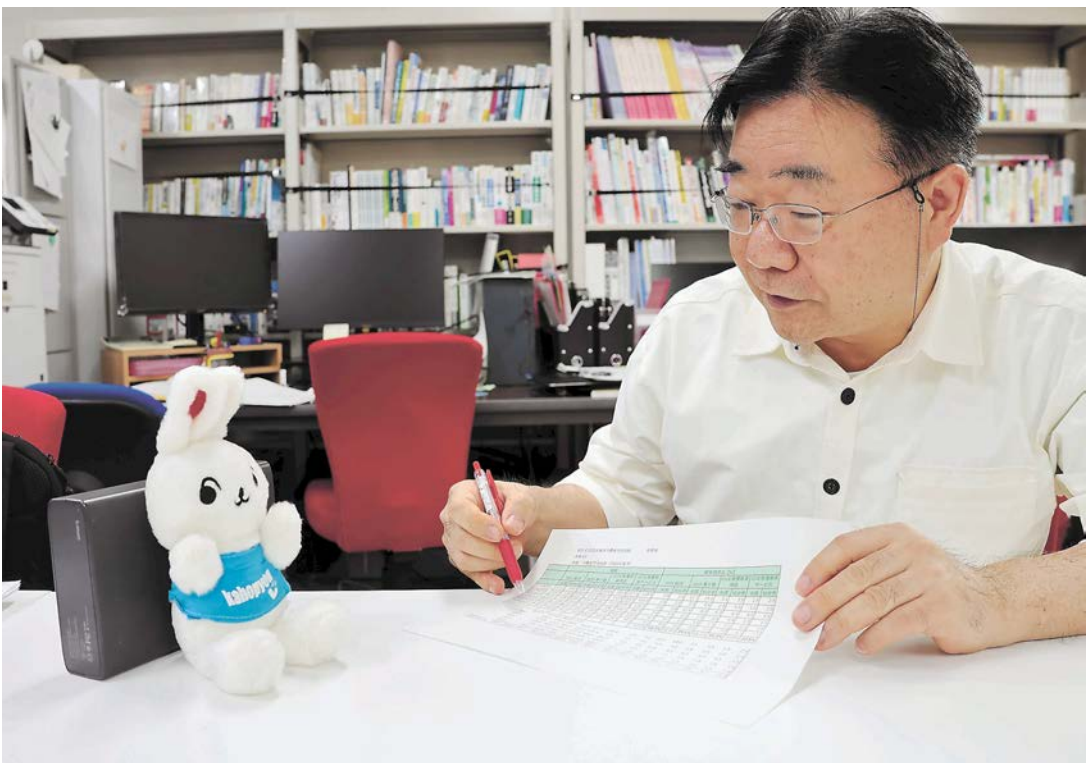


ここ数年、食べ物や衣類など生活に必要なものの値段が上がっているよ。お金に余裕がなくなり、悲鳴を上げているの

は大人だけでなく、子どもたちも同じだね。「おこづかいで買えるものが減った?」。そんな疑問に、物価上昇が子どもにも与える影響を調べる東北大経済学部の吉田浩教授(61)が答えてくれたよ。(8面に関連記事)

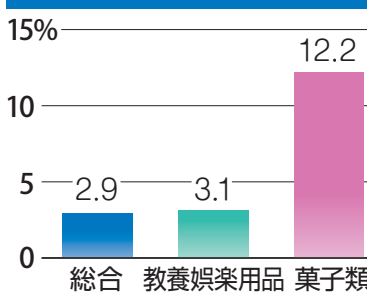
吉田教授は以前、総務省が公表する消費者物

かほピョンにお菓子の値上がり状況を説明する吉田教授 10月24日、仙台市青葉区の東北大川内キャンパス



物価高 子どもにも影響

過去1年間の値上り率



※総務省の2020年基準消費者物価指数(全国)を基に作成。今年9月と前年同月比

特に価格変動が大きかったのは「お菓子」の12・2%です。せんべいやスナック菓子、チョコな

養娯楽用品「お菓子」の3項目について、直近1年間で物価がどれだけ上がったのかを表しています。

消費者物価指数とは、各家庭が支出するモノやサービスの価格変動を示す指標で、「経済の体温計」とも言われます。



価指数を分析して、意外な事実に気付きました。「物価上昇のしわ寄せと痛みは、大人よりも子どもたちの方が大きいかもしれない」

どが調査対象で、お米やカカオ、砂糖など原料の価格上昇の影響を受けて値上がりしました。全体的な変動を表す「総合」は2・9%なので、お菓子が大きく上昇しているのが分かります。文房具やおもちゃなどが含まれる「教養娯楽用品」も3・1%と、総合を上回りました。



大人の収入は企業の賃上げや最低賃金の引き上げに伴い、全体的に増加しています。今年9月に公表された最低賃金は過去最高の1121円(全国平均)で、改定前に比べて6・3%の大幅アップとなりました。「物価上昇分を考慮すれば各家庭の事情に合わせ、おこづかいの増額交渉をしてもいいと言えます」と吉田教授。「お菓子の価格上昇を基準にすれば昨年より10%増になります。おこづかい帳を付け、親子で話し合って決めるのもいいと思います」と助言します。

この日 何の日

◇18日(火) 雪見だいふくの日

アイスの「雪見だいふく」を製造販売するロッテが制定。日付は11月が「いい」の語呂合わせ、18日はパッケージのふたを開けたときに付属のフォークと二つの雪見だいふくが「18」に見えることにちなみます。

きょうの紙面

- 2面 やさしいにほんごニュース
- 3面 3分チャレンジ
- 4・5面 テレビ いま むかし
- 6面 キホンがわかる こども英語
- 7面 投稿特集
- 8面 おこづかい帳の付け方